

人と人とのコミュニケーションは、ほとんどが言葉によって成り立っています。ですから、言葉を通じた意思の疎通がスムーズにいくか否かによって、お互いの関係がうまくいくか、気まづくなるかが決まってきました。

一つの言葉で、友だちになったり、やる気になったり、相手の心を開かせたりもします。逆に、けんかになったり、相手を傷つけたり、相手の心を閉ざしたりもします。

大人だからとか、子どもだからとかは関係ありません。

言葉がどのように作用するかは、すべて相手がどう受け取るかで決まります。そう考えると、コミュニケーションの原則は、相手への思いやりであるということ、また、時と場所・相手や相手の気持ちを考えることであるということと言えます。そのことを考えないと、思いもかけない反応を引き起こしてしまいます。

敬語や美しい言葉遣いは、コミュニケーションを滑らかにします。敬語や美しい言葉で話しかけられると、人は大切にされていると感じ、心が和みます。逆に、汚い言葉をかけられると、当たり前ですが、マイナスの感情を抱いてしまいます。

現在、子どもたちを取り巻く社会環境は、人とのふれあいの場や

言葉を通じて自分の気持ちを伝え合う場が大変少なくなってきたいます。自動販売機がいたるところに設置されていたり、買い物をして、店員との会話はほとんど必要がなかったりします。また、子どもたちの遊びを見ても、テレビゲームが主流となっている昨今、人との言葉によるやりとりがないような場面を多々見かけます。

会話の経験が少なくなると、自分の気持ちを正しく、しかも相手を傷つけることなく伝える力が乏しくなっています。そのため、友だちどうしの言い争いや誤解が多くなっています。人間だけが持つ「言語」による「伝え合う力」をもっと大切に、正しく使えるようにするため、家庭教育や学校教育が担う役割は大変大きいものと考えます。

言葉は、不思議です。そして、言葉は、すごい力をもっています。少なくとも、言葉で相手や周りの人たちを嫌な気持ちにしないように、傷つけないようにしたいものです。できれば、プラスの効果が見れるような、素敵な言葉を選んで遣うように心がけたいものです。

皆さん、言葉についてももう一度考えてみませんか。また、「言葉」「美しい言葉」「敬語」「思いやり」などについて、家族で話し合ってみてはいかがでしょう。

連載・青少年健全育成シリーズ 第286回

「言葉について考えよう」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄